BOSE®

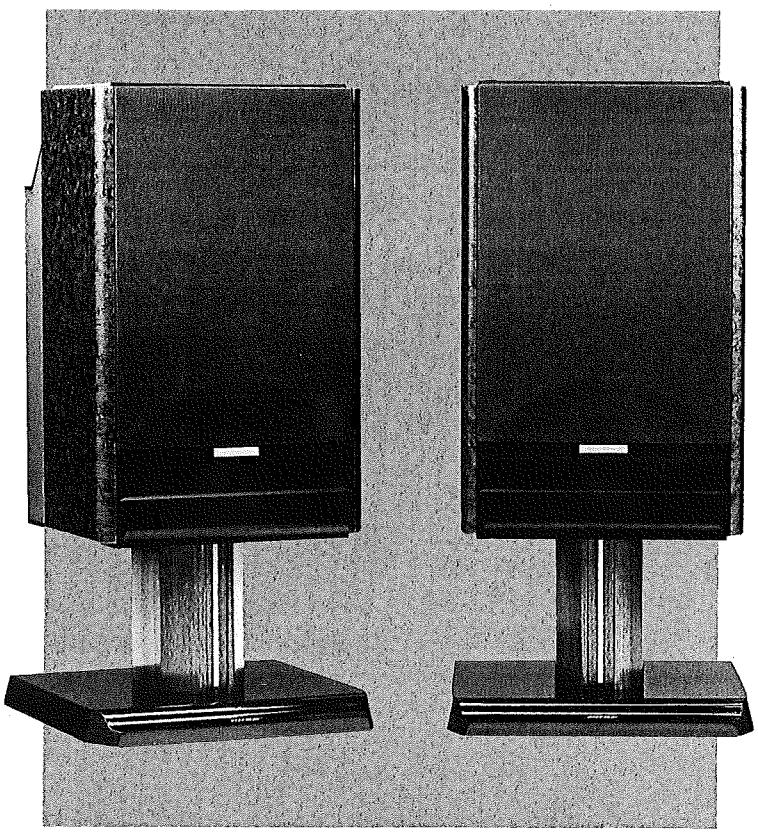
OWNER'S MANUAL

121専用チューンアップシステム

242

242取扱説明書

この度は242をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管されるようおすすめいたします。



※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。スタンドは、別売りになります。

目　次

特　長 —— 2
ご使用になる前に —— 3
開梱に際してのお願い —— 4
各部の名称 —— 4
附属品 —— 5
組み立てる前の121の準備 —— 6
組み立てる前の242の準備 —— 7
121と242の組み立て —— 7
接続について —— 8〜9
再生および調整 —— 10
スピーカーのお手入れについて —— 10
寸法図 —— 11
仕　様 —— 11
保　証 —— 11

特　長

●121専用アクースティマス構造チューンアップシステム

■音楽情報のもっとも多く集まる中域のクオリティーを向上させるため、小型高性能スピーカー121をミッドレンジ専用として使用できるようになるシステムです。このチューンアップシステムを121と組み合わせることにより、永年の実績と経験から高い評価を得ている、11.5cmドライバーをミッドレンジとして使い、高いダイナミックレンジと能率を誇るアクースティマス構造のウーファーと2.5cmソフトドーム・ツィーターを組み合わせ、あらゆるジャンルのソフトが持つすべての情報を余すところなく受けとめ、サイズに制限されることのない、さらに音楽性豊かな再生を実現します。

●重厚で透明感のある低音を再生するアクースティマス・テクノロジー

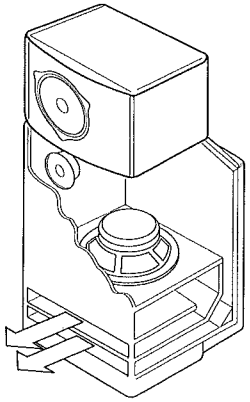
■ボーズ独自の低音再生方式であるアクースティマス・テクノロジーは、ウーファーユニットをキャビネット内部にマウントし、前後からウーファーユニットを空気のスプリングで支えることにより、コーン紙の分割振動などの混変調歪み等の発生を抑えます。また空気のスプリングは音響的なフィルターとしても働き、高調波歪み等を放出することがありません。従ってクリアで迫力ある低音の再生を可能にしました。

●2.5cm・ソフトドームツィーター採用

■242には、振動板にテトロンを使用したソフトドーム・ツィーターを採用しています。テトロンの振動板は適度な剛性と内部損失を併せ持ち、高域での均一な再生を実現します。この特性がピーク、ディップを抑え、より自然な再生を可能にしています。また振動板自体の軽量化の実現により、明瞭度が高くしかも色付きの少ない再生を達成しました。

●金メッキ処理のスピーカーターミナル採用

■高能率な伝送を行なえるよう、太いワイヤーやデュアルバナナターミナルを接続可能な金メッキネジ込み式ターミナルを装備しています。



※スピーカーの防磁について

このスピーカーは、キャンセリング・マグネット方式による低磁束漏洩になっています。
通常のスピーカーは、テレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合がありますが、このスピーカーシステムはテレビやモニターなどへの近接設置の可能なスピーカーです。ただし、テレビやモニターなどへの設置のしかたによっては、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

ご使用になる前に 安全にご使用いただくためにこのページは必ずお読みください。

設置上の注意……

次のような場所には設置しないでください。性能の劣化、故障や感電事故の原因 および火災の原因 になります。

- ●直射日光の当たる場所。
- ●暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。
- ●投光照明機などの発熱物の近くの場所。
- ●極端に寒い場所。
- ●湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。
- ●屋外や直接水のかかるところ。
- ●潮風の直接当たるところ。
- ●風通しが悪く、ホコリの多い場所。
- ●振動や傾斜のある不安定な場所。
- ●石油化学製品（ビニール、ポリエステル、プラスチックなど）やゴム製品で巻いたり、被せたり、下に敷いたり直接触れないようにしてください。
- ●通常の生活環境と大きく異なる場所。

内部を開けないで……

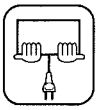
- ●内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対にしないでください。また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

内部に異物を落とさない……

- ●内部に燃えやすいものや、ヘアピンや硬貨などの金属片などが入った場合、また、誤って水などの液体がかかった場合は、アンプなどの電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げいただいた販売店又は当社にご相談ください。そのままでご使用になりますと火災や故障および感電事故の原因になります。

シンナーなどで拭かないで……

- ●製品を拭くときは、シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。



セットを移動するとき……

- ●セットを移動するときは、接続しているコードの断線やショートを防ぐため他の機器との接続コードを取り外してから動かしてください。

他の機器と接続するとき……

- ●他の機器と接続するときは、各機器の電源がOFFになっていることを確認してください。また、セットのボリュームを絞ってから行なってください。

落雷に対する注意……

- ●落雷などのおそれがあるときは、コンセントから電源プラグを抜き取ってください。

無理な力は加えない……

- ●スイッチやツマミには、無理な力を加えないでください。

音のエチケット……

- ●音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。

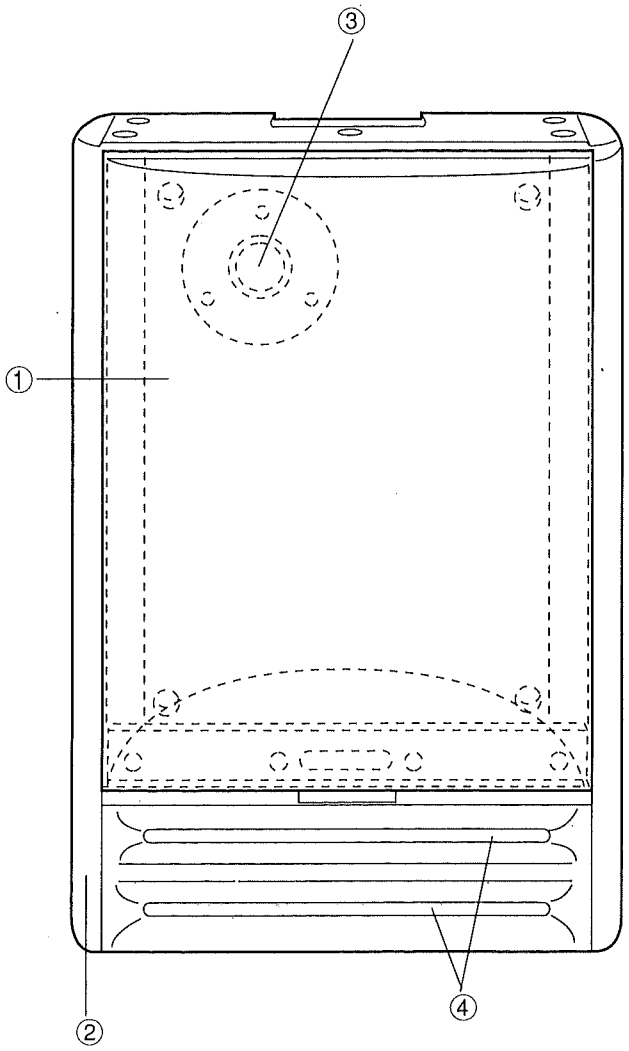
あなたが放送やCD、テープ、又はビデオディスクや市販のソフトテープから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

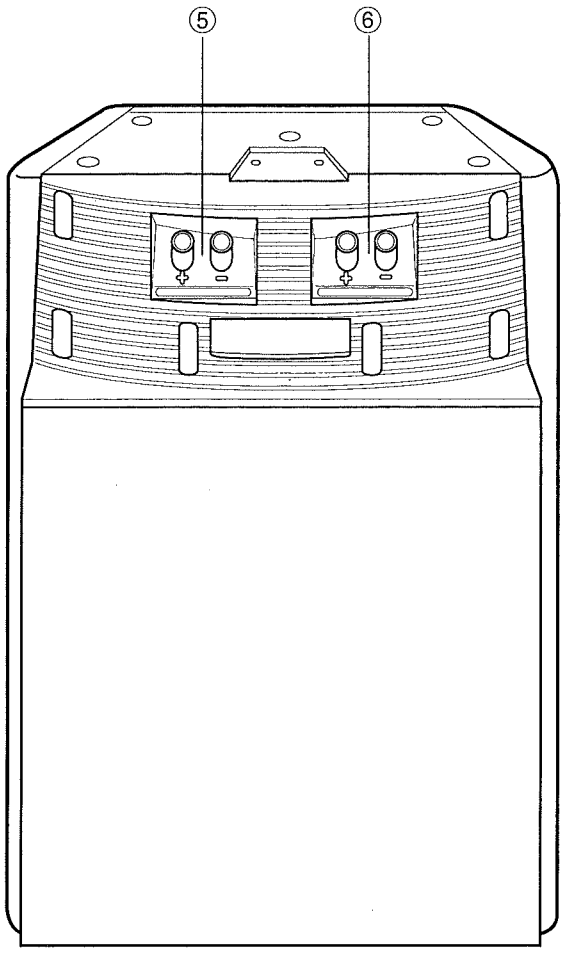
開梱に際してのご注意とお願い

●もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

各部の名称

242は、左右対称のスピーカーです。スピーカーから再生される音色は、設置位置、部屋の状況により変化します。設置にはそれぞれユニットが内側または外側となる2通りがありますが、音色の好みに応じて設定してください。





※Lchの場合

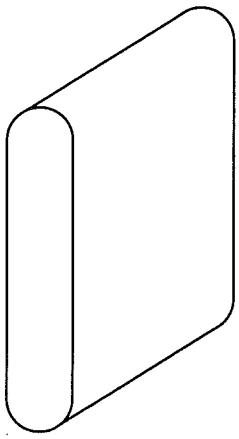
①グリル
スピーカードライバー保護用グリル。

②キャビネット
キャビネットはMDF (Medium Density Fiber-Board：中密度繊維板) を使用。無駄なキャビネットの鳴きを抑えます。

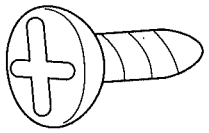
③2.5cmソフトドーム・ツィーター
テトロン素材を採用し、色付きの少ない自然な音の再生を可能にしました。

④ポート
2つのポートから低域エネルギーを効率よく放出します。

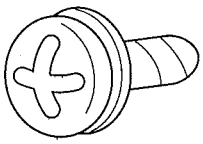
付 属 品



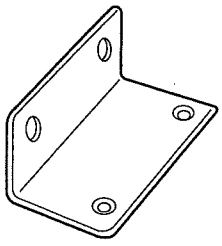
⑦アコースティックパッド　2個



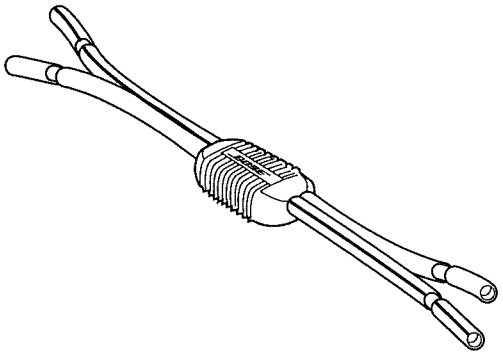
⑨121固定金具用ネジ　4個



⑩121固定金具用ネジ　4個



⑧121固定金具　2個



⑪ジョイントコード　2本

⑤入力スピーカーターミナル
パワーアンプまたはプリメインアンプのスピーカー出力端子からのコードをこの端子につなぎます。端子は、金メッキ処理のデュアルバナナ対応ネジ込み式スピーカー接続端子を装備しています。
極性は、緑…＋、青…－です。

⑥出力スピーカーターミナル
中域用のスピーカーにつなぐコードをこの端子につなぎます。端子は、金メッキ処理のデュアルバナナ対応ネジ込み式スピーカー接続端子を装備しています。
極性は、赤…＋、黒…－です。

⑦アコースティックパッド
121の部分をミッドレンジスピーカー専用にするためにこのパッドでポートの部分を塞ぎます。左右分2個付属されています。

⑧121固定金具
242と121を固定するための金具です。左右分2個付属されています。

⑨121固定金具用ネジ
242本体部に金具を固定するためのネジです。左右分4個付属されています。

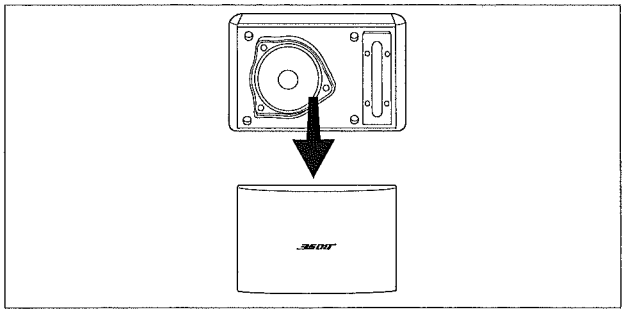
⑩121固定金具用ネジ
121と金具を固定するためのネジです。左右分4個付属されています。

⑪ジョイントコード
121のINPUT端子と242のOUTPUT端子とを接続するためのケーブルです。左右分2本付属されています。

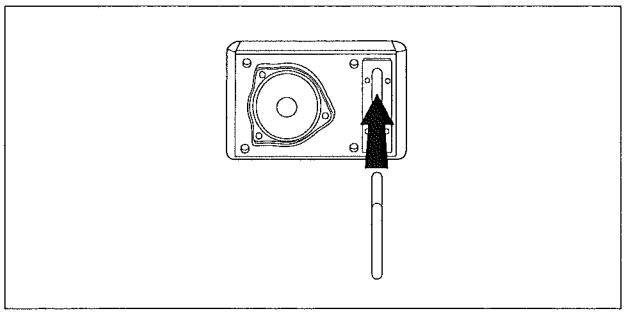
組み立てる前の121の準備

●121の準備について

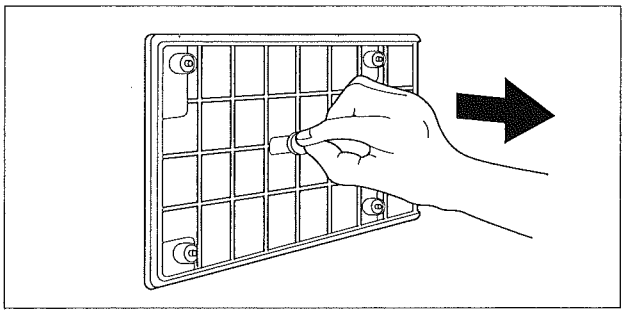
①121のグリルをはずします。隅の部分からていねいにグリルをはずしていきます。



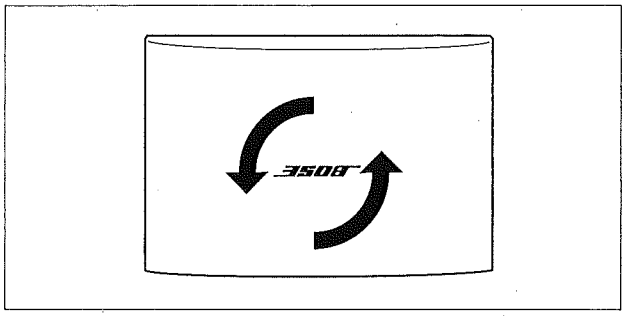
②アコースティックパッドを取り付けます。
付属のアコースティックパッドを121のエアロフレアポートに挿入します。121の部分をミッドレンジスピーカー専用にするためのパッドです。音響的な調整をするためのものですので必ずお使いください。



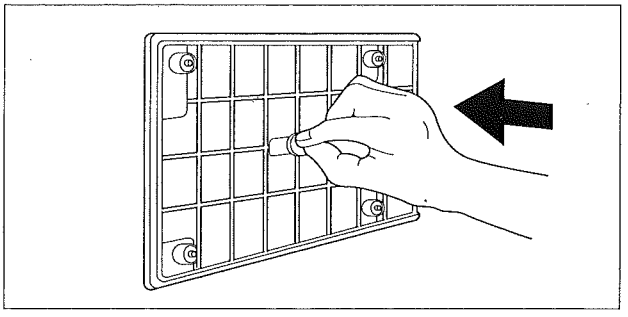
③ロゴマークが正しくなるように合わせます。
121の天地が逆さまになったときにフロントのロゴマークが正しくなるように合わせます。
合わせる場合は、まず、ロゴマークを止めている裏の止め具をはずします。



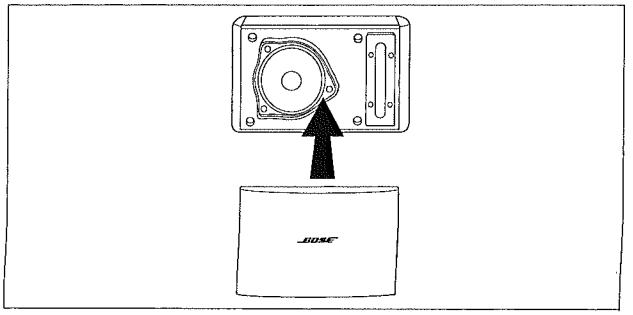
④つぎにロゴマークを180度回転させます。



⑤はずした止め金具を元に戻して止め直します。



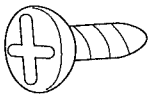
⑥グリルを元に戻します。
グリルをはめ込みます。



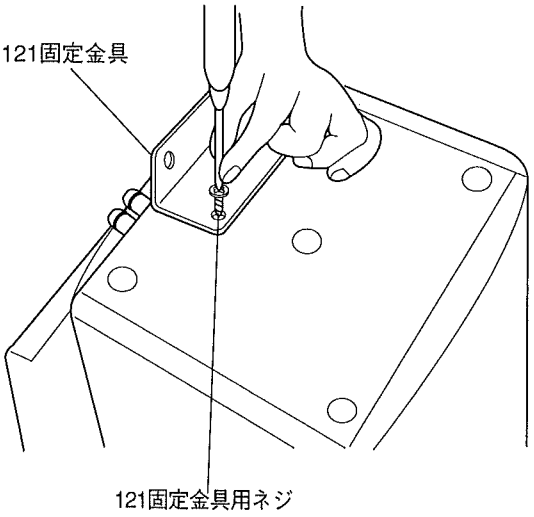
組み立てる前の242の準備

●242の準備について

242本体上部に付属の121固定金具を図のように取り付けます。



121固定金具用ネジを使用します。

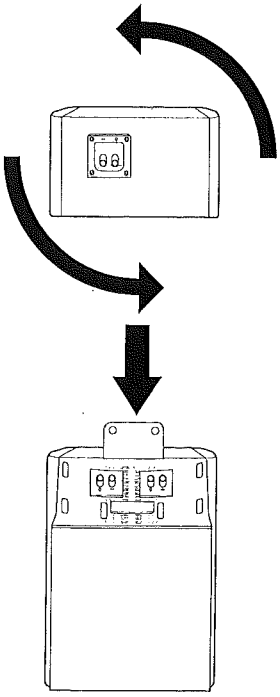


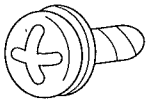
121と242の組み立て

●121と242を組み立てます。

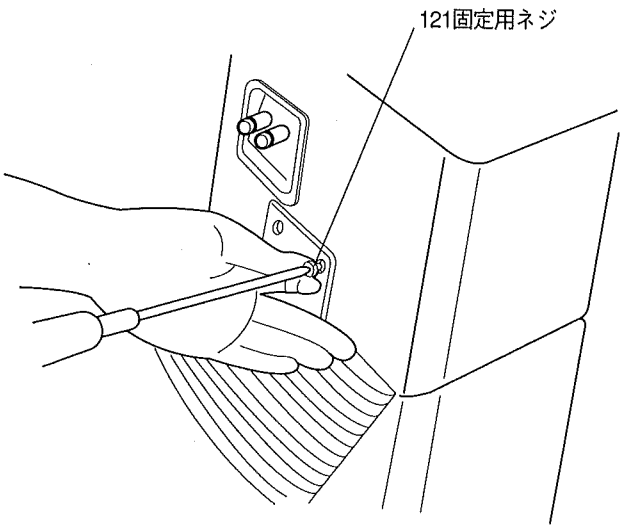
①242の天井部分に付属の121固定金具を、付属のネジで図のように固定します。取り付ける時の121は242のOUTPUTコネクターの真上に121のスピーカーコネクターが来るように合わせます。121は天地が逆さまにの状態になります。

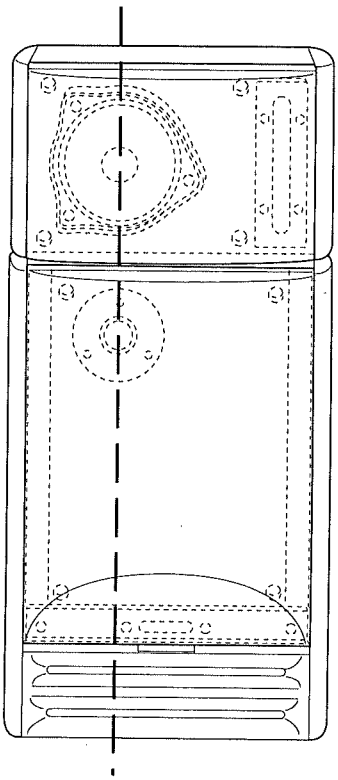
②つぎに固定金具と121とを121に付属しているネジを使って固定します。この時、前面は、121のドライバーユニットと2.5cmのソフトドームツイーターが同軸上に並ぶように組み合わさります。





121固定用ネジを使用します。

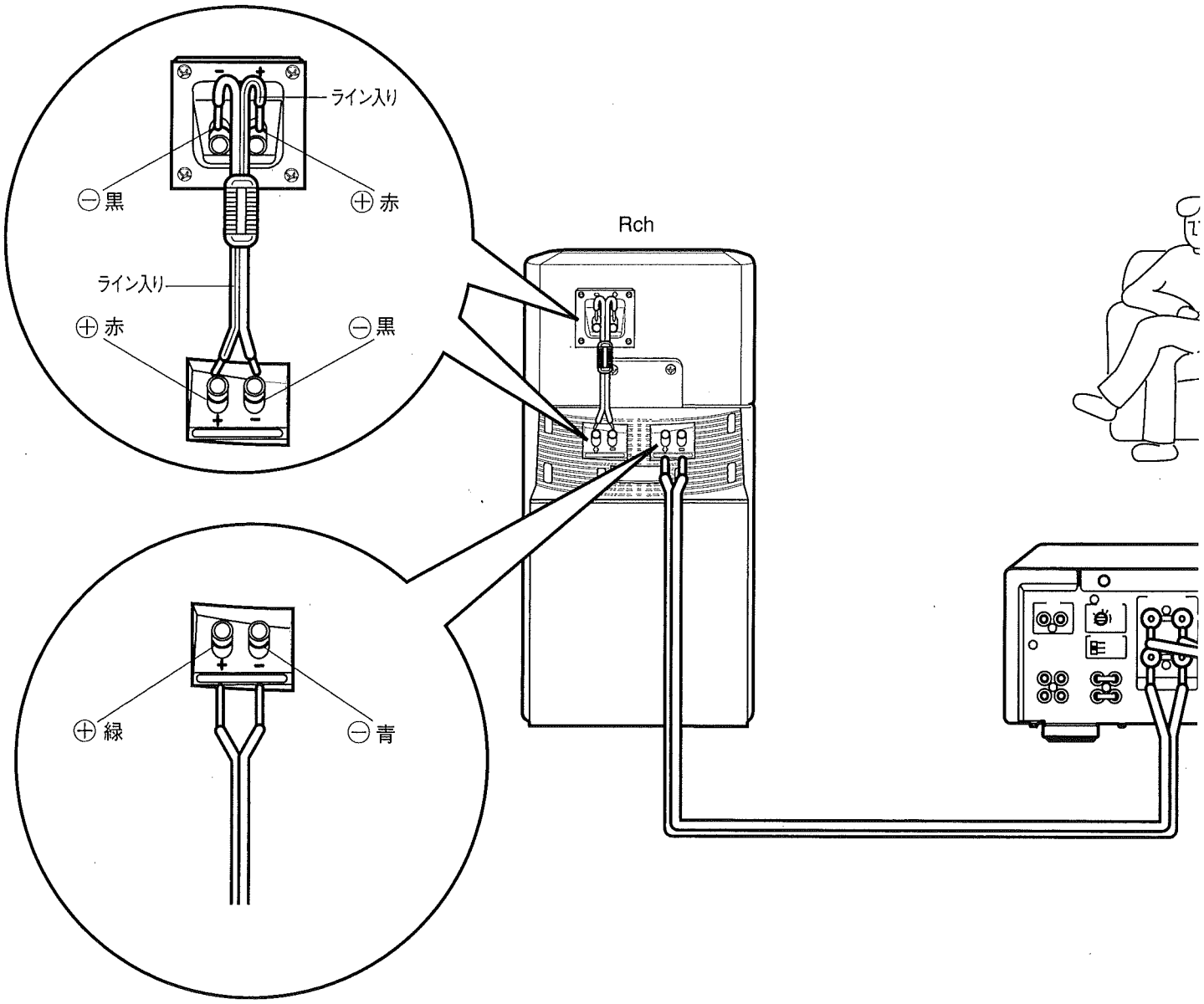




接続について

① 図のように242に付属のジョイントコード(5ページ参照)で121の入力端子と242の出力端子を接続します。

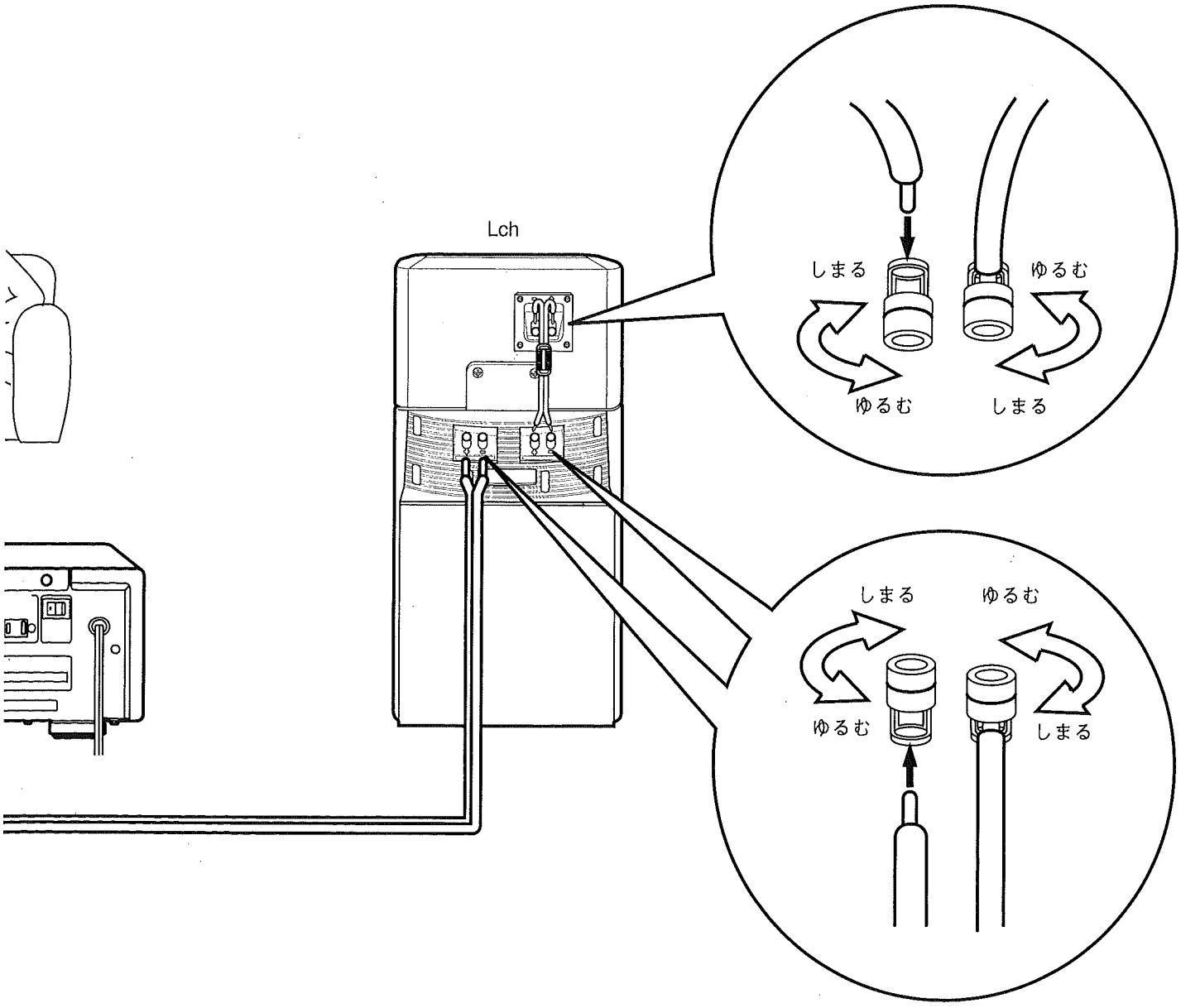
② 242の入力端子とアンプの出力端子を接続します。接続の際に＋、－の極性をまちがえないよう十分にご注意ください。

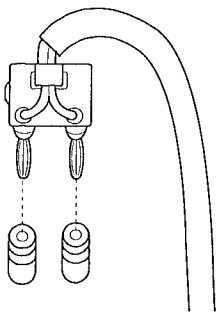


●バナナジャックで接続する場合

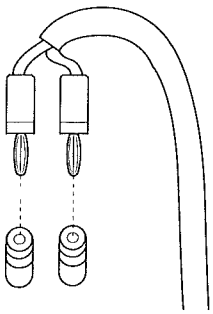
『モデル363』は高性能な伝送が行えるよう、バナナジャックの接続が可能な端子を装備しています。市販のデュアルもしくはシングルのバナナジャックをスピーカーコードの先端に装着し、スピーカーの入力端子に接続してください。

スピーカーケーブルの極性（＋、－）を間違えますと、音の定位がフラついたり低音が出なくなることがありますので、十分ご注意ください。





デュアルバナナジャックの場合

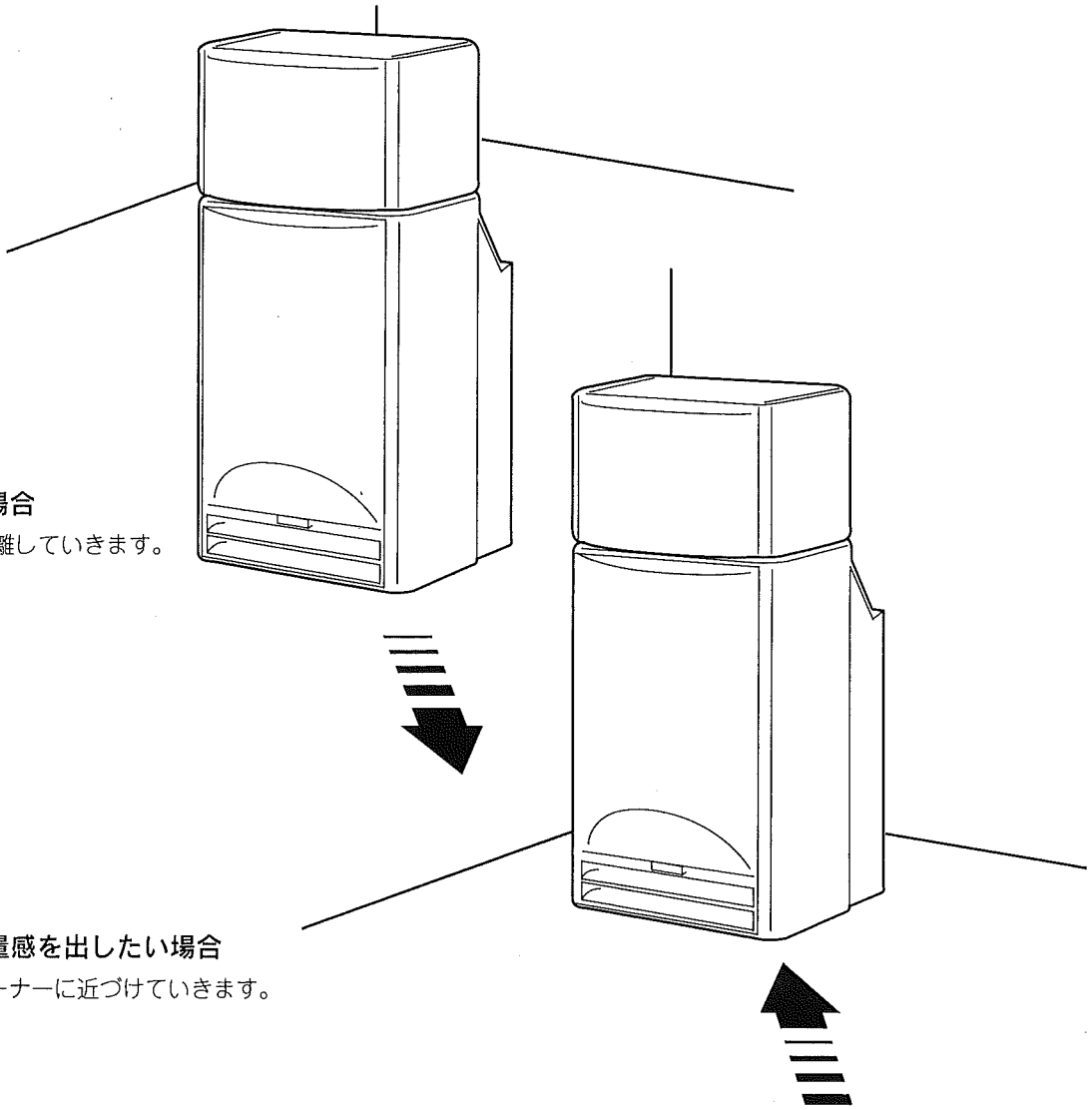


シングルバナナジャックの場合

再生および調整

●聞き慣れた音楽ソースを用意してください。アンプのボリュームをしぼった状態で電源を入れ、徐々に音量を上げていってください。

●スピーカーは設置する場所によって低音の量感が変わります。低音が出すぎると感じた場合は、壁やコーナーから離すと減少させることができます。また、低音が足りないと感じた場合は壁やコーナーに近づけると増加させることができます。



●低音が出すぎる場合
壁やコーナーから離していきます。

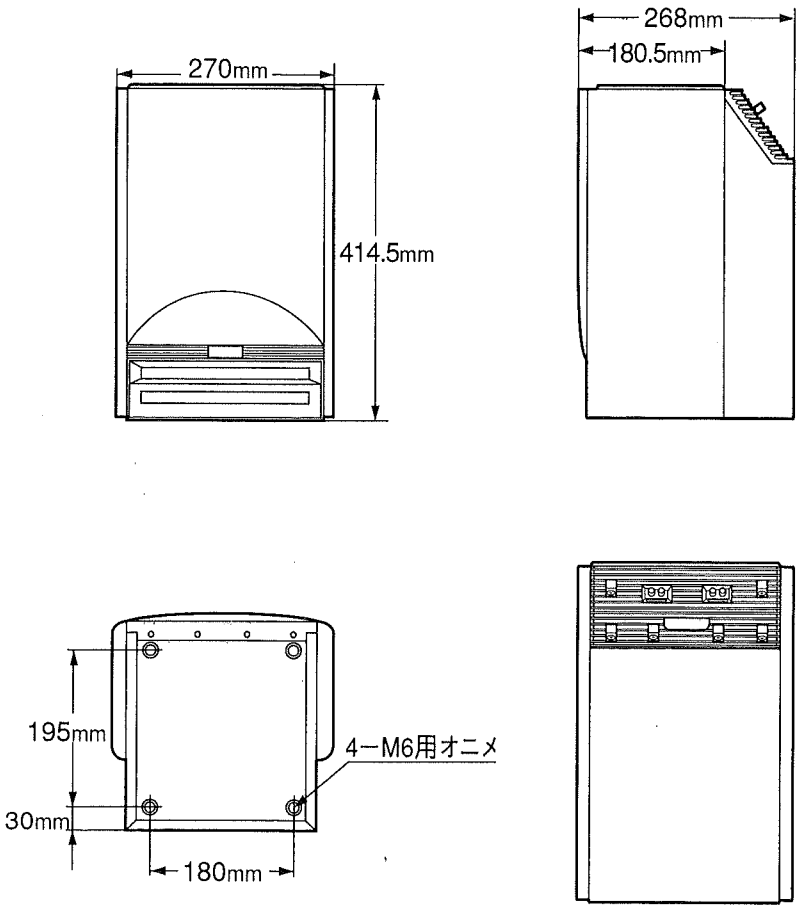
●低音の量感を出したい場合
壁やコーナーに近づけていきます。

スピーカーのお手入れについて

●キャビネットの汚れを落とす場合

●汚れやホコリは、柔らかい布でから拭きしてください。
●汚れがひどいときには、中性洗剤を薄めた水にやわらかい布を浸し、堅く絞って汚れを拭きとってから、やわらかい布でから拭きしてください。
●アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品はキャビネットの表面をいためますので、ご使用にならないでください。

寸法図



仕　様（121と242を組み合わせた場合）

ユニット	ツィーター：2.5cmドーム型
	ミッドレンジ：11.5cmコーン型
	ウーファー：16cmコーン型
低音再生方式	アクースティマス方式
許容入力	80W(rms)、210W(peak)
インピーダンス	6Ω
防磁	低磁束漏洩：キャンセリングマグネット方式
サイズ	270(W)×414.5(H)×268(D)mm (242) ／270(W)×581(H)×268(D)mm(121＋242)
重量	10.8kg（242 1本の重量）／15kg (121＋242 1本の重量)
接続端子	デュアルバナナ対応ネジ込み方式（金メッキ処理）
付属品	121固定金具　2個
	固定金具取り付けネジ　4本
	121取り付けネジ　4本
	アコースティックパッド　2個
	ジョイントコード　2本

保　証

通常の使用において発生した故障に対しては、ご購入時より5年間の保証をさせていただきます。ただし、改造及び誤った使用、不注意による故障・外観上の破損については、このかぎりではありません。

BOSE®
Better sound through research.

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

ボーズ株式会社 〒150 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル TEL 03-5489-0955

OM-1021
94・10-0.26K-A・1(I-M)